

日本アカデミー賞 Japan Academy Film Prize



日本アカデミー賞（Japan Academy Film Prize）は、日本の映画賞。主催は日本アカデミー賞協会で、米国の映画芸術科学アカデミーより正式な許諾を得て発足。1978年（昭和53年）4月6日から毎年催されている。

1977年（昭和52年）までは毎年11月に京都市民映画祭が開催されており、同映画祭は大映・東宝・松竹・日活・東映らの京都で製作された映画の中で、部門毎に優秀賞を贈呈し、全国的な賞として取り上げられていた。『水曜ロードショー』の解説を務めていた映画評論家の水野晴郎は「映画の素晴らしさをさらに盛り上げる祭典」と同賞を発案。水野は松竹・東宝・東映のトップや日本テレビのプロデューサーへ持ち掛けて準備を進めていた。途中から電通が仕切ることになり、同社の入江雄三と岡田茂の尽力が、映画各界の幅広い賛同・参加を得る。アメリカ合衆国のアカデミー賞を模し、暖簾分けとして設立され、3か月間で第1回開催にこぎつけた。このため、京都市民映画祭は日本アカデミー賞が発足された同年から催されていない。発案した水野は会員として投票するだけの立場となっていた。

運営費の主要財源は、各映画会社の分担金や授賞式の放映権料である。同趣旨の映画賞に、英国アカデミー賞がある。フランスのセザール賞もアカデミー賞を参考に創設されたものだが、暖簾分けの形式は採っていない。

賞の選出は、日本アカデミー賞協会会員の投票によって行われる。日本アカデミー賞協会は、日本国内の映画関係者によって構成される。会員は年会費2万円を払い、主要な映画館で映画を無料で観ることができる会員証（フリーパス）が与えられている。会員は1980年（昭和55年）12月末時点で約1200人だったが、2015年（平成27年）時点では約3900人となっている。

選考の対象となる作品は、授賞式の前々年12月中旬から前年12月中旬までの1年間に東京都内で公開された映画。かつては、授賞式の前年の1月初から12月末までの1年間に公開された映画を対象とした。しかし、アメリカ合衆国のアカデミー賞授賞式の開催日が、3月・4月頃から2月・3月頃に繰り上げられたため、日本アカデミー賞授賞式も開催時期を3月・4月頃から2月・3月頃に早め、それに伴い対象となる作品の公開期間も1か月前倒しし、前々年12月初から前年11月末までの1年間となった。

2013年発表の第36回より、対象期間が12月中旬頃と少々後ろにずらされた。授与される賞は正賞が15部門あり、その他に新人俳優賞などがある。正賞の優秀賞と新人俳優賞は、投票（協会員全員）により選ばれ、そのうち正賞については優秀賞受賞の中より最優秀賞が投票（協会員全員）により選ばれる。日本アカデミー賞は日本国内の他の多くの映画賞とは異なり、作品賞・監督賞・脚本賞・俳優賞のみならず技術部門賞も設けている。

2007年からは本家のアカデミー賞がアニメ部門を創設したことに倣い、独立部門としてアニメーション作品賞が新設された。

各賞は以下の通り（2015年現在）。正賞には彫刻家流政之デザインによるブロンズ像（トロフィー）が贈られる。最優秀賞ブロンズと優秀賞ブロンズがあり流政之制作の「映画神像」が元になったデザインである。この像は有楽町マリオン9Fロビーに恒久展示され授賞式時にステージに設置される。このほか正賞およびその他の賞に対し賞状、賞金が贈られる（正賞個人賞12部門に最優秀賞30万円・優秀賞20万円、新人俳優賞・協会特別賞・岡田茂賞10万円）。

出典「allcinema」「IMDb」「KINENOTE」「映画.com」「goo映画」「YAHOO映画」「Movie Walker」「Filmarks映画」

「映画ナタリー」「Goethe Institute Japan」「Wikipedia」「アカデミー賞記録事典」「キネマ旬報ベスト・テン90回全史」etc.

 DVD/Blu-ray所有映画

第1回 1978年

最優秀作品賞・最優秀外国作品賞

作品賞		外国作品賞	
 山田洋次 - 監督作品 幸福の黄色いハンカチ	幸福の黄色いハンカチ	 ROCKY	Rocky
	 山田 洋次		ロッキー
			アメリカ
			John G. Avildsen
			ジョン・G・アヴィルドセン

最優秀監督賞・最優秀脚本賞

監督賞		脚本賞	
	山田 洋次		山田 洋次
	幸福の黄色いハンカチ		幸福の黄色いハンカチ
		男はつらいよシリーズ	
		脚本賞	
			朝間 義隆
			幸福の黄色いハンカチ
			男はつらいよシリーズ

最優秀主演・助演 男優賞・女優賞			
主演男優賞		主演女優賞	
	高倉 健		岩下 志麻
	 幸福の黄色いハンカチ		 はなれ瞽女おりん
 八甲田山			
助演男優賞		助演女優賞	
	武田 鉄矢		桃井かおり
	 幸福の黄色いハンカチ		 幸福の黄色いハンカチ

第2回 1979年

最優秀作品賞・最優秀外国作品賞

作品賞		外国作品賞	
	事件		Conversation Piece Gruppo di Famiglia in un Interno
	野村芳太郎		家族の肖像 イタリア / フランス Luchino Visconti ルキノ・ヴィスコンティ

最優秀監督賞・最優秀脚本賞

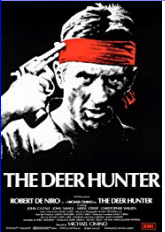
監督賞		脚本賞	
	野村芳太郎		新藤 兼人
	鬼畜		事件
	事件		

最優秀主演・助演 男優賞・女優賞

主演男優賞		主演女優賞	
	緒形 拳		大竹しのぶ
	鬼畜		事件
助演男優賞		助演女優賞	
	渡瀬 恒彦		大竹しのぶ
	事件		聖職の碑

第3回 1980年

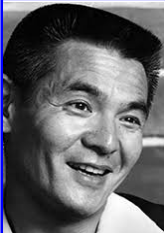
最優秀作品賞・最優秀外国作品賞

作品賞		外国作品賞	
	復讐するは我にあり		The Deer Hunter
	今村 昌平		ディア・ハンター
			アメリカ
			Michael Cimino
			マイケル・チミノ

最優秀監督賞・最優秀脚本賞

監督賞		脚本賞	
	今村 昌平		馬場 当
	復讐するは我にあり		復讐するは我にあり
		No Photo	

最優秀主演・助演 男優賞・女優賞

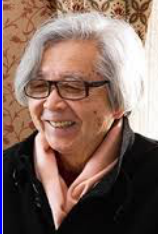
主演男優賞		主演女優賞	
	若山富三郎		桃井かおり
	衝動殺人 息子よ		神様のくれた赤ん坊
			もう頬づえはつかない
助演男優賞		助演女優賞	
	菅原 文太		小川眞由美
	太陽を盗んだ男		配達されない三通の手紙
			復讐するは我にあり

第4回 1981年

最優秀作品賞・最優秀外国作品賞

作品賞		外国作品賞	
	ツィゴイネルワイゼン		Kramer vs. Kramer
	 鈴木 清順		クレイマー、クレイマー
			アメリカ
			Robert Benton
			ロバート・ベントン

最優秀監督賞・最優秀脚本賞

監督賞		脚本賞	
	鈴木 清順		山田 洋次
	 ツィゴイネルワイゼン		 男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花
			遥かなる山の呼び声
		脚本賞	
			朝間 義隆
 男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花	 遥かなる山の呼び声		

最優秀主演・助演 男優賞・女優賞

主演男優賞		主演女優賞	
	高倉 健		倍賞千恵子
	 動乱		 遥かなる山の呼び声
	 遥かなる山の呼び声		 男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花
助演男優賞		助演女優賞	
	丹波 哲郎		大楠 道代
	 二百三高地		 ツイゴインエルワイゼン

第5回 1982年

最優秀作品賞・最優秀外国作品賞

作品賞		外国作品賞	
	駅 STATION		Die Blechtrommel
	降旗 康男		ブリキの太鼓
			西ドイツ / フランス
			Volker Schlöndorff
			フォルカー・シュレンドルフ

最優秀監督賞・最優秀脚本賞

監督賞		脚本賞	
	小栗 康平		倉本 聰
	泥の河		駅 STATION

最優秀主演・助演 男優賞・女優賞

主演男優賞		主演女優賞	
	高倉 健		松坂 慶子
	駅 STATION		青春の門
			男はつらいよ 浪花の恋の寅次郎

助演男優賞		助演女優賞	
	中村嘉葎雄		田中 裕子
	 陽炎座 ラブレター		 北斎漫画
	 仕掛人 安		 ええじゃないか
	 ブリキの勲章		